

岩国市立美和東小学校児童が間伐作業等を体験！

令和5年11月28日(火)に岩国市美和町佐坂の山林において、岩国市立美和東小学校の5年生9名が間伐作業等を体験しました。

これは、次代を担う子どもたちに、ふるさとの森林の大切さや林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために、林業研究グループ「美川町優良材生産研究会」(会長：隅 聖典)が「森林体験学習」として行ったものです。

研究会のメンバーが講師となり、児童は、森林の話や間伐の必要性等の説明を受け、マツやヒノキの見分け方をクイズ形式で学びました。

次に、間伐作業体験に取り組みました。伐倒技術として受け口や追い口の作り方を教わりつつ、児童が交代で手ノコをひき1時間程度かけてヒノキを伐倒しました。本来は、もっと地際に追口や受口を設定しますが、今回は、児童が伐採しやすいように高めに設定し伐採しました。その他、「森のロープワーク」として、もやい結びなどに取り組みました。

曇り空に時折冷たい風の吹く中での森林体験学習となりましたが、児童達は元気に林内を走り回り、引率の先生に叱られるほどでした。

最後に、美川町優良材生産研究会の皆さんが作成した森のブランコを楽しみました。森のブランコはとても大きく迫力があり、児童達は大変喜んでいました。



伐木体験



森のブランコ